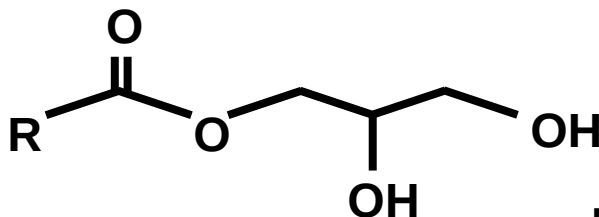


グリモイスト® MO

1 グリモイスト® MO

構造



RCO : オレイン酸残基

コンセプト

耐水性とさっぱり感を両立した高保湿W/O乳化剤

表示名称

オレイン酸グリセリル、グリセリン

INCI

GLYCERYL OLEATE, GLYCERIN

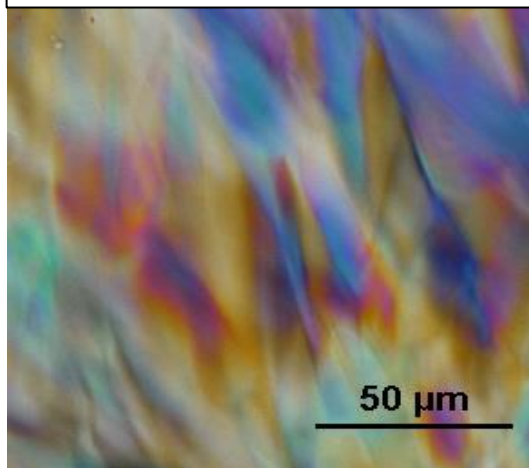
中文INCI

甘油油酸酯、甘油

2 グリモイスト® MOの特長

＜偏光顕微鏡観察＞

MO:Oil:Water=7:1.5:1.5



逆ヘキサゴナル液晶の形成

- ・ 当社独自の製造方法により、モノエステル純度が高い乳化剤です
- ・ 逆ヘキサゴナル液晶を形成することにより、耐水性や温度安定性の高いW/O乳化処方を調製できます
- ・ 80%以上の水相を乳化した、高内水相W/O乳化処方を調製できます。そのため、W/Oの特徴である耐水性や高保湿性と、瑞々しくさっぱりした感触を両立できます

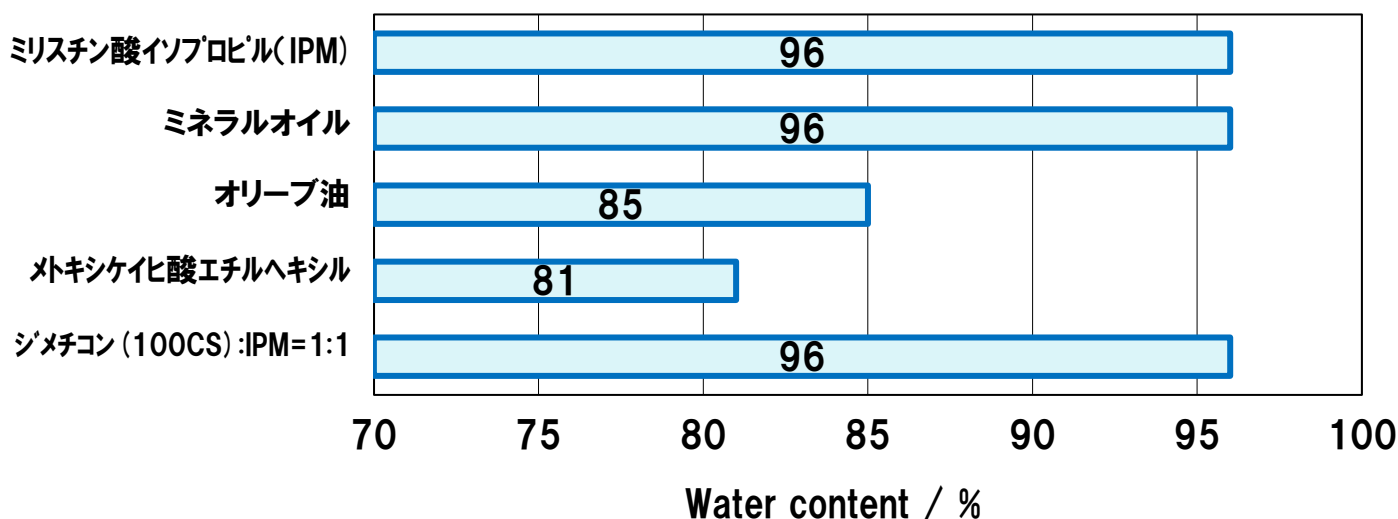
用途：敏感肌用高保湿クリーム、

ウォータープルーフサンスクリーンクリーム 等

3 グリモイスト® M0の含水率

＜試料＞ 油剤：グリモイスト® M0：水＝2：2.5：X

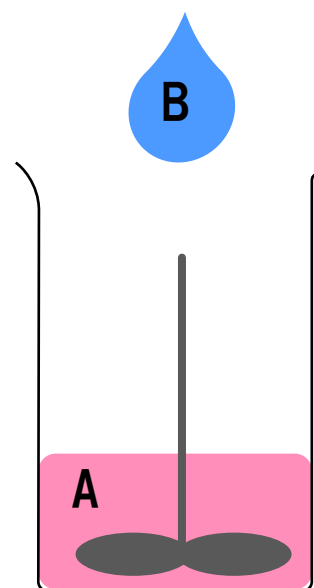
- ＜調製方法＞ 1. 油剤2gとグリモイスト® M0 2.5gを計り取り80℃で均一になるまで混合
2. 80℃で攪拌しながら、分離するまで水を添加



様々な油剤において、高い含水率を有します

4 WOクリーム処方の調製方法

	製品名	表示名称	wt%
A	グリモイスト® M0	オレイン酸グリセリル、グリセリン	3.5
	BIOLEAM®-L	(C9－12)アルカン、 (C13－15)アルカン、 (C14－22)アルコール	12
B	－	水	残部
	RG・コ・P™	グリセリン	5
	－	BG	2
	－	硫酸マグネシウム	0.7
	グリモイスト® EH	エチルヘキシルグリセリン	0.1
	－	フェノキシエタノール	0.2
合計			100



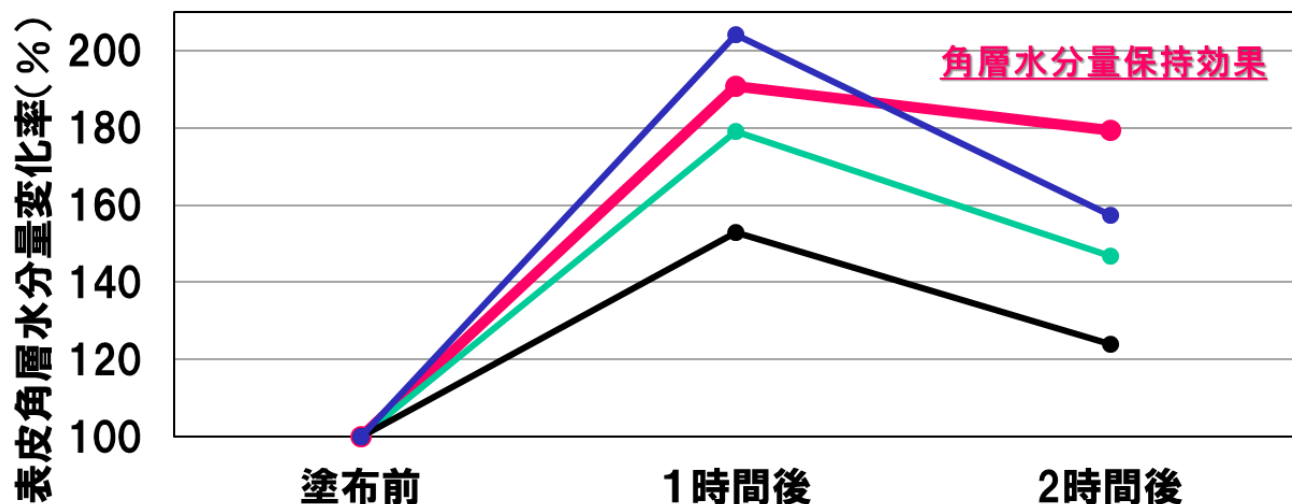
1. A相、B相をそれぞれ量り取り、80℃で均一になるまで攪拌する
2. B相を5～10回に分け、攪拌しながらA相へ添加し、その都度 均一になるまで混合する
3. 室温まで冷却する

※B相の添加速度が速い場合、乳化安定性が悪化する恐れがあります。
処方時にはB相の添加速度にご注意ください。

＜調製方法＞

1. 右表に記載の簡易乳化処方を調製。
2. 前腕部に各サンプルを0.1g塗布し、塗布前、1時間後、2時間後の表皮角層水分量を皮表角層水分量測定装置(SKICON-200EX)にて測定。
3. 塗布前を100%とし、表皮角層水分量の経時変化を確認。

	配合率 (wt%)
イオン交換水	66.3
W/O系乳化剤	3.0
水添ポリイソブテン	30.0
硫酸Mg	0.7
合計	100.0



● グリモイスト®M0

● 他社品①:モノオレイン酸グリセリル

● 他社品②:ポリグリセリン系W/O乳化剤

● 他社品③:シリコン系W/O乳化剤

**グリモイスト®M0は、表皮角層水分量を保持し、
乾燥からお肌を守ります**

【お問合せ先】	本 社	〒150-6012 東京都渋谷区恵比寿4-20-3(恵比寿ガーデンプレイスタワー)
		TEL.(03) 5424-6700 http://www.nof.co.jp/
	大阪支社	〒530-0003 大阪市北区堂島2-4-27(JRWD堂島タワー)
		TEL.(06) 6454-6554 FAX.(06) 6454-6573
	名古屋支店	〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1-24-30(名古屋三井ビル本館)
		TEL.(052) 551-6161 FAX.(052) 551-2310
	福岡支店	〒810-0001 福岡市中央区天神4-2-20(天神幸ビル)
		TEL.(092) 741-3111 FAX.(092) 781-7070

詳しくは…

日油 化粧品素

検索